義務教育学校が開校

新しい校歌 みんなで

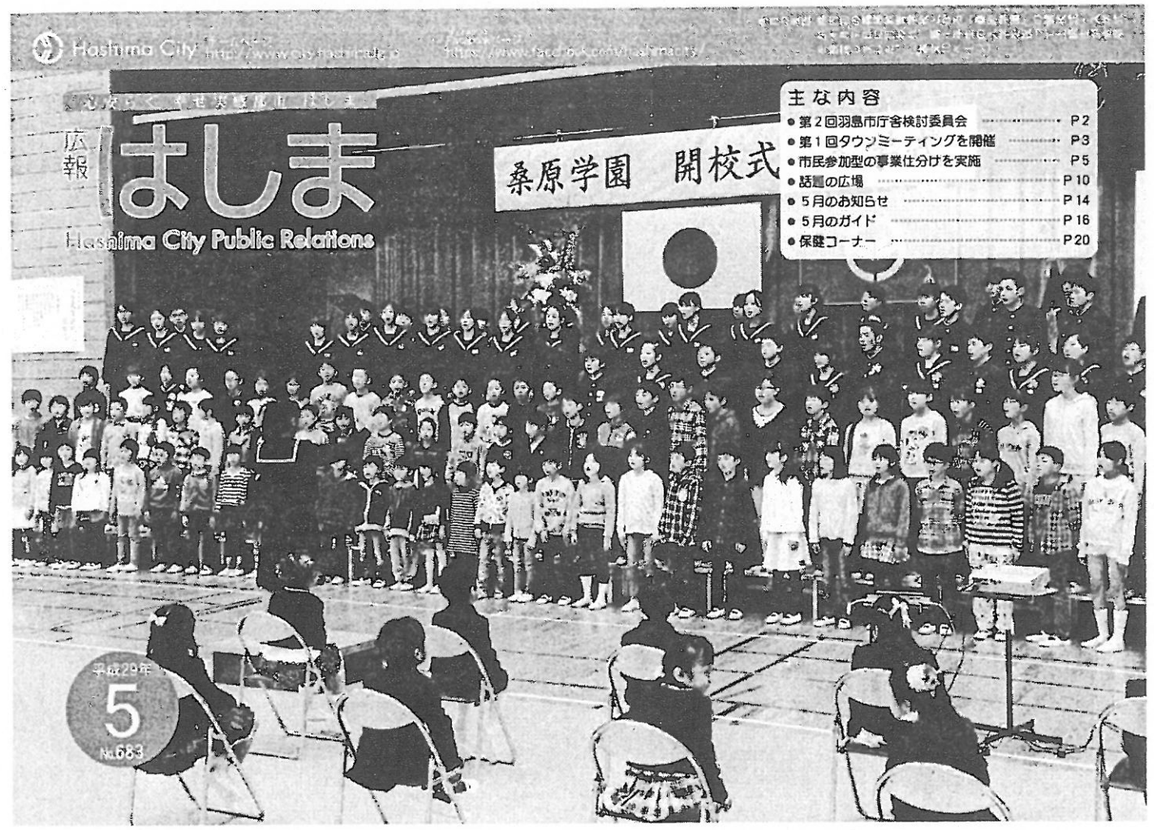
羽島市立桑原学園

165人 新たな門出

地域の心のよりどころ

徹明さくら小開校

意匠研で



話題の広場

県内初の義務教育学校、小中一貫教育を推進

4月7日・桑原学園開校式（表紙写真）

小・中学校９年間の義務教育を一貫して行う義務教育学校「桑原学園」の開校式が４月７日に行われ、児童・生徒165人が新たな学校生活をスタートさせました。

同校は、敷地が隣接する桑原小・中学校からの移行により開校したものです。これまで同小・中学校では、中学校教職員による小学生への教科指導や集会、運動会の合同開催などを実践してきました。この実績を踏まえ、小中一貫教育をさらに推進するため、大野郡白川村と並び県内初となる義務教育学校の開校が実現しました。

式では松井市長の開校宣言、小川和彦校長のあいさつの後、児童・生徒を代表して９年生の横井美衛（よしえ）さんが「岐阜県ナンバー１の魅力あふれる学校を目指します」と誓いの言葉を述べました。また、新１年生21人の入学式もあり、２～９年生が合唱などで入学を祝いました。

今後は、９年間の連続した教育課程を編成することで、前期課程（小学校段階）からの教科担任制の導入や児童・生徒が交流する取り組みなどを実施し、さらなる学力の向上や豊かな人間性の育成を目指します。

① ６年生に手を引かれて入場する新1年生
② 開校に当たり誓いの言葉を述べる生徒会長の横井美衛さん
③ 入学を祝い、伝統行事「花活動」で育てた花を新１年生に贈る8年生

新しい学校で一歩

羽島「義務教育学校」開校式

5年生と手をつないで入場する新1年生たち

2017年度から小中一貫教育の「義務教育学校」になった羽島市立桑原学園（65人の児童・生徒が、新たな一歩を踏み出した。

6日、開校式・入学式があった。9学年合わせて165人の児童・生徒が、新たな学校生活をスタートさせた。

開校式では、9年生の横井美衛さん(14)が在校生代表としてあいさつした。「先輩たちのたくさんのドラマと歴史の積み重ねの上に、きょうから桑原学園の歴史が始まる。学べる喜びを胸に夢想に向けて歩みます」と誓いを強くして言い切った。

続く入学式では、21人の新一年生が6年生と手をつないで、制服姿の1～6年生の間を入場。拍手や合唱で、温かく迎え入れられた。小川和彦校長は「お兄さん、お姉さんたちを、みなさんをやさしく見守ってくれます」と、新入生に語りかけていた。

義務教育学校は、学校教育法の改正に伴い、昨年度から設置できるようになった。校長が1人で、教員組織も小中で区別がない。中学校の教諸科目を教科担任制の導入や児童・生徒が交流する取り組みなどを実施し、さらなる学力の向上や豊かな人間性の育成を目指す。

小中9年間の義務教育を一貫

「桑原学園」が開校

羽島市

小中学校9年間の義務教育を一貫して行う義務教育学校「桑原学園」（羽島市桑原町八神）の開校式が7日、同校であり、児童・生徒165人が新たな一歩を踏み出した。

児童生徒165人、新たな一歩

敷地が隣接する同町の桑原小学校と桑原中学校が連携し、白川村と共に県内で初めて義務教育学校に移行。

一期教科担任制の導入など独自の教育方針を定めるほか、9学年が授業で互いの良さを見つけ合うという、幅広い年齢の交流を取り組みも進める。

入学生に向けて共に歌声を響かせる児童生徒＝羽島市桑原町八神、桑原学園

式では、松井聡市長、やり、地化しとなった」と、校歌を踏まえつつ、この後、が開校を宣言した後、あいさつ、小川和彦校長が「9学年代表として9年生の横井（よしえ）さん(14)が「桑原学園 明日（Tomorrow）」という挑戦、互いに思い「つくっていきたい」と声を響かせた。

式では、松井聡市長、やり、地化しとなった」と、校歌を踏まえつつ、この後、が開校を宣言した後、あいさつ、小川和彦校長が「9学年代表として9年生の横井（よしえ）さん(14)が「桑原学園 明日（Tomorrow）」という挑戦、互いに思い「つくっていきたい」と声を響かせた。

9年間 学び楽しみ

小中一貫 桑原学園開校

羽島

羽島市の桑原小学校と桑原中学校を統合し、小中一貫の義務教育学校「桑原学園」が開校した。学園は「中一ギャップ」解消を目指す。教師が体育館で開校式があり、一～九年生百六十五人が新たな学校生活をスタートさせた。校長は、それぞれの教諸科目を生かした授業を通じ幅広い学年に教えられる利点があるとし、小川和彦校長があいさつ。児童、生徒を代表して九年生の横井美衛さんが「岐阜県ナンバー1の魅力あふれる学校を目指します」と誓いの言葉を述べた。

開校に当たり誓いの言葉を述べる生徒会長の横井美衛さん

桑原学園　開校式・入学式

開校したばかりの桑原学園で、新1年生を迎え合唱を披露する2～9年生＝羽島市桑原町で

式では、松井聡市長が「地域に根ざした学校として、新一年生が新一年生を迎えられるよう、とたちの指針となる道を先輩、兄のあった校」と、校歌を踏まえつつ、この後、が開校を宣言した後、あいさつ、小川和彦校長が「9学年代表として9年生の横井（よしえ）さん(14)が「桑原学園 明日（Tomorrow）」という挑戦、互いに思い「つくっていきたい」と声を響かせた。